

8月 たんぽぽ組 クラスだよ!

いよいよ8月。夏の暑さもピークを迎えています。たんぽぽ組の子ども達は、暑さの中でも泥水遊びや水遊びを楽しんでいます。「わー」「つめた〜い」等と言いながら、水の冷たさや泥の感触を感じながら、夏の遊びを存分に味わっています。これからもひとりひとりの体調や天候・気温に配慮しながら、楽しく過ごしていきたいと思っています。

また、今月は花火大会やお祭り、お盆など楽しいイベントがたくさんあります。家族でいろいろな計画をたてていることと思いますが、人混みが予想される場所では、けがをしたり迷子になったりしないよう注意し、夏を楽しく過ごしましょうね。



～ 子ども達の様子 ～

砂場で泥んこ遊びや砂遊び楽しんだり、テラスで水遊びを楽しんだりしています。みんな、夏の遊びを満喫していますよ。



8月生まれのお友達



☆ことちゃん☆
笑顔がとってもチャーミングな女の子です!
おたんじょうび
おめでとうございます!



<<お知らせ>>

8月からたんぽぽ組に新しいお友だち、みらんちゃんが入園します。
また、なおちゃんがすみれ組に進級します。どうぞよろしくお祈りします。

夏に多い子どもの病気・症状

暑くなると肌の露出が増えるので、肌のトラブルが起こりやすくなります。そこで、知っておきたい病気や症状を紹介します。

◇とびひ(伝染性膿痂疹)◇

傷口やあせも、虫刺されなどの患部を爪でひっかくことで皮膚が傷つき、ばい菌が新入することで皮膚がただれたり、厚いかさぶたができて、強い疼痛や炎症といった症状が起こります。ばい菌が侵入し患部を触った手で自分の身体や他人に触れると、同じようにとびひに感染してしまいます。

◇水いぼ◇

ウイルスに感染すると1~5mmほどのいぼができます。身体のどの部分にも発症する可能性があります。いぼをひっかき内容物が飛び出して皮膚に付着すると感染が広がるのでひとつできるとその付近や、普段触りやすい部位に次々に発生します。

◇手足口病◇

手のひらや口の中、足裏、おしりなどに小さな水泡性の発疹ができます。潜伏期間は2~5日間程で、微熱を伴います。発熱は高くて38度台です。感染経路は、飛沫感染、接触感染、排せつ物の中にあるウイルスが飛び、口の中に入って感染する糞口感染があります。

◇ヘルパンギーナ◇

のどの痛みや口の中の水ぶくれ、発熱などの症状がでます。重症になると髄膜炎や心筋炎を起こす為、意識障害や息切れが現れる場合があります。口の中やのどの痛みが強くなるため、食事や水分がとることが難しくなります。